

本会議の論点について

(1) 発達段階や多様な特性に応じた読書習慣の形成

生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむためには、発達段階に応じて読書習慣を身に付ける必要がある。

【論点（案）】

- ・乳幼児期から読書習慣を形成するために効果的な取組はどのようなものか。
- ・主体的・対話的な深い学びの実現に向けた効果的な取組はどのようなものか。
- ・高校生が読書をするきっかけになるような効果的な取組はどのようなものか。
- ・特別な支援が必要な子供や外国籍の子供への読書活動の推進方策はどのようなものか。
- ・読書活動に関わる学校、図書館、NPO、民間企業等との連携方策はどのようなものか。

(2) 読書とICT（情報通信技術）のベストミックス

スマートフォン、電子書籍の普及やSNSなどのコミュニケーションが多様化する中で、読書とICTとのベストミックスを探る必要がある。

【論点（案）】

- ・ICTの活用を読書活動にどう結び付けていくのか。
- ・紙と電子書籍それぞれの強みを活かした読書活動をどのように考えるべきか。

(3) 地方公共団体の推進体制について

一部の市町村では推進計画が未策定であるとともに、地域間、学校間格差を解消するため、地方公共団体の取組を推進する必要がある。

【論点（案）】

- ・地方公共団体の読書活動推進計画の策定をどのように促進するのか。
- ・地域間、学校間格差を解消するための方策はどのようなものか。
- ・読書活動を支える人材をどのように育成するのか。